

押出成形向け 透明・透明耐寒ポリプロピレン

開発ステージ

研究・開発段階

導入検討段階

実用化段階

キーワード

軽量化

モノマテリアル化

CO₂排出削減

用途

食品容器／飲料容器

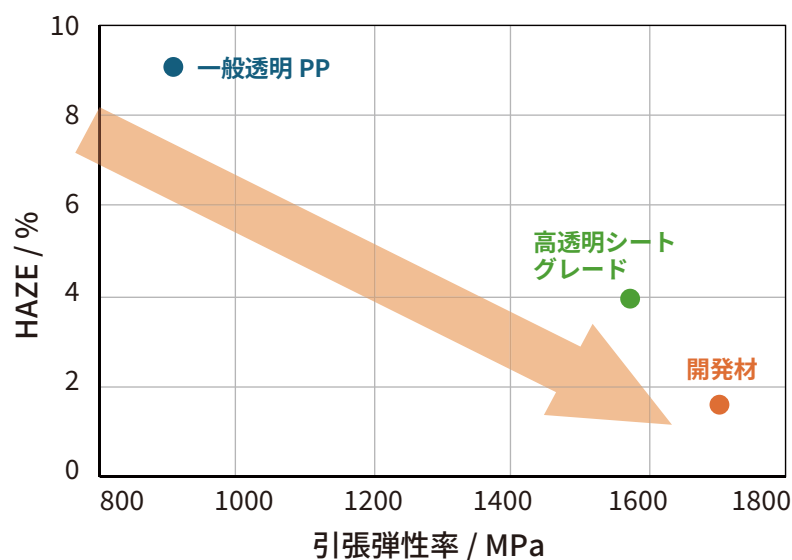
課題

- PPWR 等の法規制対応に向け、モノマテリアル化や資源循環に配慮した容器包装设计が求められている
- サプライチェーン全体での GHG 排出量削減が求められている
- 内容物の視認性や商品訴求性を維持しながら環境対応を進める必要がある

ソリューション

●高透明タイプ：

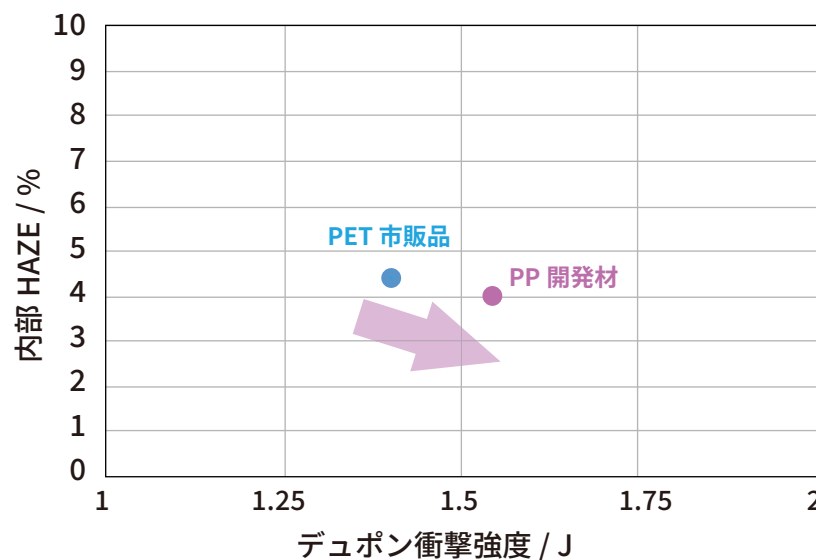
高い透明性・低白濁感・熱成形性良好な材料を開発。
(現行材は PET、PS 等)



※HAZE とは：透明材料の白濁感を示す指標（数値が低いほど高透明）
成形シートからサンプリングして測定（厚み：約 0.35 mm）

●透明・耐寒タイプ：

透明性と耐寒衝撃性のバランスに優れる材料を開発



※成形品の側面を切り出して測定（厚み：約 0.2 mm）

ベネフィット

- PP 容器と透明 PP 蓋の組み合わせで内容物の視認性を維持しながらモノマテリアル設計が可能
(コンビニの丼容器など)
- 透明性・耐寒性が求められる用途における PET-G などの代替候補となり、PP モノマテリアル設計の適用範囲拡大に貢献。(アイスコーヒークップなど)
- PET・PS 代替による軽量化と輸送時の CO₂排出量低減への貢献
(比重見合いで PET 比約 30%、PS 比約 15%、ガラス瓶比約 65% の重量減)

お問い合わせ |  日本ポリプロ株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。